

中国の地方行財政制度



一般財団法人
自治体国際化協会

はじめに

当協会では、各海外事務所を通じ、海外の地方自治制度や地方行政に関わる個別政策等を調査研究し、各種刊行物を通して日本の地方公共団体や地方自治関係者にその結果を紹介している。中国についても、平成 19 年 7 月に「中国の地方行財政制度」を刊行し、その後幾度かの改訂を重ねてきたところである。

日中間の地域間交流は年々活発化し、友好都市提携数は 2022 年 2 月時点で 378 件に達している。また、中国社会に目を向けると、高い成長率を追い求めた急激な経済成長から、経済の質と効率向上に基づいた持続的で健全な成長を目指す段階へと移行しつつあり、行財政制度に関しても法整備や改革が進められているところである。

このような背景の下で、中国に対する日本の地方自治関係者の関心は日々高まっており、中国の地方行財政制度の現状に関する体系的な資料の提供を求める声は一層強まっている。今回の改訂に当たっては、北京大学政府管理学院の白智立副教授にご指導いただきながら、中国の行財政関係冊子、諸資料、既存調査等に基づいて、新たな法律の施行など近年の状況変化を反映させた。研究・教育活動の傍ら、我々を温かくご支援いただいた白智立副教授に心より感謝を申し上げる。

中国においては公表資料が少ないこと、法制度と実態が必ずしも一致しないこと、制度改革が進行中であること等から、地方行財政の実態を十分に説明できていない可能性もあるが、中国の地方行財政制度に対する理解の一助となれば幸いである。

最後に、本書が地方公共団体や地方自治関係者によって活用され、日中の地域間交流の更なる発展に資することを願ってやまない。

令和 4 年 3 月

一般財団法人 自治体国際化協会 北京事務所
所長 宮本 貴章

目次

はじめに

| | |
|--------------------|----|
| 第1章 国家の政治・行政機構 | 1 |
| 1 全国人民代表大会及び同常務委員会 | 2 |
| (1) 全国人民代表大会 | |
| (2) 全人代常務委員会 | |
| 2 国家主席 | 4 |
| 3 国務院 | 5 |
| 4 中国共産党 | 7 |
| 5 中国人民政治協商会議 | 8 |
| 6 中央軍事委員会 | 9 |
| 7 監察委員会 | 9 |
| 8 人民法院 | 10 |
| 9 人民検察院 | 10 |
| 第2章 地方行政制度 | 11 |
| 第1節 行政区 | 12 |
| 1 概論 | 12 |
| 2 各行政区の概要 | 14 |
| (1) 省級行政区 | |
| (2) 地級行政区 | |
| (3) 県級行政区 | |
| (4) 郷級行政区 | |
| 第2節 組織と権限 | 18 |
| 1 地方各級人民政府 | 18 |
| (1) 省級地方人民政府 | |

| | |
|-----------------------------------|----|
| (2) 地級地方人民政府 | |
| (3) 県級地方人民政府（県人民政府） | |
| (4) 郷級地方人民政府 | |
| (5) 居民委員会・村民委員会 | |
| 2 地方各級人民代表大会 | 31 |
| (1) 地方各級人民代表大会 | |
| (2) 地方各級人民代表大会常務委員会 | |
| (3) 郷級人代の主席及び副主席 | |
| 3 共産党地方組織 | 36 |
| 第3節 特別行政区（香港特別行政区・マカオ特別行政区） | 37 |
| 1 特別行政区の政治・行政機構 | 37 |
| (1) 行政機関 | |
| (2) 特別行政区の立法機関 | |
| (3) 行政機関と立法機関の関係 | |
| 2 中央政府との関係 | 43 |
| 第4節 公務員制度 | 44 |
| 1 条件、義務及び権利 | 44 |
| 2 採用 | 45 |
| (1) 公告 | |
| (2) 応募及び資格審査 | |
| (3) 試験 | |
| (4) 任用審査 | |
| (5) 任用 | |
| 3 考査 | 46 |
| 4 処遇 | 46 |
| (1) 給与制度 | |
| (2) 福利制度 | |
| (3) 保険制度 | |

| | |
|------------------|----|
| (4) 退職・辞職 | |
| (5) 免職 | |
| 第5節 地方人民政府における事務 | 50 |
| 1 組織の実態 | 50 |
| 2 事務の具体例 | 53 |
| (1) 義務教育 | |
| (2) 社会保障 | |
| 第3章 地方税財政制度 | 56 |
| 第1節 地方財政 | 57 |
| 1 予算の仕組み | 57 |
| (1) 予算体系 | |
| (2) 予算管理体制の原則 | |
| (3) 各機関の役割 | |
| 2 予算編成・執行・決算 | 60 |
| (1) 予算編成方法 | |
| (2) 予算編成過程 | |
| (3) 予算執行 | |
| (4) 決算 | |
| (5) 会計検査 | |
| 3 予算外資金と政府性基金予算 | 63 |
| (1) 予算外資金 | |
| (2) 問題点 | |
| 第2節 地方税財政の規模及び構造 | 64 |
| 1 歳入 | 64 |
| (1) 全体推移 | |
| (2) 税収別内訳 | |
| (3) 省別内訳 | |

| | |
|---------------------------|----|
| 2 歳出 | 70 |
| (1) 全体推移 | |
| (2) 項目別内訳 | |
| 3 政府性基金及び国有資本経営予算 | 73 |
| 第3節 地方債、分税制・政府間財政調整 | 74 |
| 1 地方債 | 74 |
| (1) 地方債発行の制度設計 | |
| (2) 2018年の発行実績 | |
| (3) 今後の課題 | |
| 2 分税制 | 76 |
| (1) 中央と地方の役割分担の明確化 | |
| (2) 中央と地方の財政収入範囲の明確化 | |
| 3 政府間財政調整 | 77 |
| (1) 税込返還制度 | |
| (2) 移転支払制度 | |
| (3) 財政調整制度の課題と今後 | |
| 第4節 地方税制 | 81 |
| 1 税目 | 81 |
| (1) 物品及び労務課税 | |
| (2) 所得課税 | |
| (3) 財産課税 | |
| (4) その他の税 | |
| 2 組織・系統 | 92 |
| (1) 国家税務局系統 | |
| (2) 地方税務局系統 | |
| 参考文献等 | 95 |